

薬剤耐性菌の問題

県感染症情報センター

大きな感染症を 知る

◆57◆

感染症の治療にはいろいろな薬剤が使用されます。中でも、感染症の病原体自体に作用して、病原体を減らす働きをする「抗菌薬」や「抗ウイルス薬」は、薬剤耐性菌や薬剤耐性ウイルスを作らないよう、必要なときに限り、正しく使用しなければなりません。今回は、将来、日本人の死亡原因の第一位になる可能性も指摘されている「薬剤耐性菌」の問題についてお話しします。

▽細菌とウイルスの違い
病原体は、乳酸菌や大腸菌などの「細菌」と、インフルエンザウイルスなどの「ウイルス」に大別できます。

剤も全く異なります。細菌に対するものは「抗菌薬（抗生物質も含む）」、「抗ウイルス薬」と区別して呼ばれます。

▽細菌とウイルスの違い
細菌とウイルスとは構造や増殖方法が大きく異なるため、対応する薬

も減らしてしまつたため、下痢を起こすことがあります。一方、抗ウイルス薬は、インフルエンザ用の「タミフル」、水痘（みずぼうそう）用の「ソビラックス」などが有名ですが、それぞれのウイルスに、抗菌薬は全く効果がありません。

▽薬剤耐性とは
さまざまないウイルスが原因で、この風邪のウイルスに対する抗ウイルス薬の「タミフル」、水痘（みずぼうそう）用の「ソビラックス」などが有名ですが、それぞれのウイルスに、抗菌薬は全く効果がありません。

細菌にとつて抗菌薬は猛毒ですから、当然、自分を守る仕組みを作りま

す。その仕組みにより抗菌薬が効かなくなることを、抗菌薬（薬剤）に対して抵抗性（耐性）を持つことから「薬剤耐性」と呼びます。

薬剤耐性菌は新しい細菌ではなく、前からいる細菌が耐性を獲得したものです。これまで薬剤耐性菌が現れては新しい抗菌薬が開発され、しばらくくするとその新しい薬剤にも薬剤耐性菌が現れるという「いたちごっこ」

を繰り返してきました。さらにウイルスは、抗ウイルス薬が少ないことから、いったん薬剤耐性ウイルスとなつてしまつ

風邪に抗菌薬は無効 適正使用で未来を守る

「第1回薬剤耐性あるある川柳」（国立国際医療研究センター病院AMR臨床リサーチセンター（主催）の金賞、銀賞と佳作の一部（出典：http://amr.nccmr.go.jp/survey/result.html）

<p>佳作</p> <p>抗菌薬 予防薬では ありません 健康第一40代 女性 神奈川県 細菌も どうかやら菌トレ するらしい ヨッチャン70代 男性 岩手県 夢70代 女性 奈良県</p>	<p>銀賞</p> <p>効果ある くすりを残そう 未来まで おくすりクソ野郎20代 男性 岐阜県 抗菌薬 正しく使い バイバイ菌 中田 加奈60代 女性 神奈川県</p>	<p>金賞</p> <p>その風邪に ほんとに必要？ 抗菌薬 NEMCO-DC60代 男性 愛知県 良薬も 飲み方しだいで 悪役に 山田 加奈60代 女性 神奈川県</p>
--	--	--

う、薬剤耐性菌が増えやすい環境をつくることになりま

▽適切な使用をめざし
少し前までは、薬剤耐性菌は病院の中だけのことでしたが、安易な抗菌薬使用の結果、近年では電車（のり）からも見つかるといいます。また、複数の抗菌薬にも耐性を持った多剤（たざい）耐性菌も増えていますが、新しい抗菌薬の開発スピードは落ちて

また、抗菌薬を使用する場合、医師の指示を守らないといけません。勝手に減らしたり、途中で止めた

り、現在のがんによる死者数を超え、死亡原因の第一位になるとされています。

抗菌薬の不適切な使用が、将来、大切な人の死につながるかもしれないと考える時期に